

南部アカマツ振興センターのセミナーの開催

南部アカマツ振興センターでは、平成22年2月に、埼玉県協同組合彩の森ときがわ、及びときがわ町役場において、先進的な地域材活用の取組について調査研修が実施されました。

今回、久慈地域に、ときがわ町長、協同組合彩の森ときがわを迎え、南部アカマツ振興センター会員を対象としたセミナーが6月29日に開催され、6月30日には、製材工場の見学会が実施されました。

1 セミナーの開催

ときがわ町長を講演者として、「地域材活用による森林・林業・木材産業の活性化について」というテーマでセミナーが開催されました。

埼玉県比企郡ときがわ町は、町の面積の約7割が山林で、かつては建具などの木材産業が盛んな地域でしたが、木材価格の低迷により、山林の荒廃が危惧される状況となっていました。そこで、町の財産である木材を積極的に活用した、「内装木質化による教育環境の整備」に取組み、児童や生徒の健康や快適性などを確保する一方で、地域経済の活性化、森林や里山の保全などを進めているという内容でした。

講演後、学校の木質内装化に関して、施工費、施工方法など多くの質問があり、活発なセミナーとなりました。

2 製材工場の見学

久慈地方森林組合林産加工センター、ヤマゼン木材の見学が行われ、地域材の形質、品質管理の説明がされました。製品紹介の際には、販売価格、輸送方法など具体的な質問がありまし

た。今後も、ときがわ町の木材加工関係者と、ネットワーク形成を推進していく予定となっております。



写真1 セミナーの様子(参加人数22名)



写真2 工場見学の様子(久慈地方森林組合 南部アカマツ振興センターの説明、梁、板材の紹介)



写真3 工場見学の様子(ヤマゼン木材 内装用集成材の紹介)